

第 2 期協議会における主な協議結果

【令和 6 年度第 1 回協議会】

- 開催日 令和 6 年 5 月 2 4 日（金） 1 8 時
- テーマ 公立保育園としてどのような態勢をとっておけばスムーズに対応できるか。
- 主な意見
 - ・ 相談を受けてから予算を確保し、その後看護師を募集して配置し、配置した看護師の研修を行うという段階を踏まなければならないのが課題。
 - ・ 保育園で看護師を雇うほかに、訪問看護事業所に委託するという手段もある。
 - ・ 入園手続に必要な書類も最初はわからない。書類一式がフォーマットとしてあるといいのでは。
 - ・ トイレなど、特別感のない造りにするなどの配慮も必要。
 - ・ 他の子と一緒に行動への配慮として、できることは一緒にやる、体力的に合う年齢のクラスと一緒に行動するなどしている。
 - ・ 専門職の人材がリストアップできるとよいのでは。

【令和 6 年度第 2 回協議会】

- 開催日 令和 6 年 1 1 月 8 日（金） 1 8 時
- テーマ 第 1 回の振り返り。
受け入れる側の不安を取り除くには、どのようなことをやればよいか。
- 主な意見
〔第 1 回の振り返り〕
 - ・ 受入機関に専門のスタッフが派遣されていて、見てくれるという形が作ればハードルが低くなるのではと思う。
 - ・ 入園が確定しなければ準備ができない。保育園や幼稚園、それぞれ特色がある。建物も一律ではなく、対応が難しい造りの施設もある。

- ・ 看護師も保育士も園長も、「怖い」というところから入ってくると思う。
- ・ 医療、療育の関係者などが連携してサポートをしながら、次の保育園につなげていくというやり方が、一番受け入れ態勢を整えやすい。
- ・ 学校側が不安を抱えて「こういう場合はどうでしょう。」と聞いたところ、「救急車を呼んでくれればいいです。」と答えてくれたドクターがいた。不安をとる回答でいいと感じた。
- ・ 必要な部屋の確保など、施設の問題が大変。
- ・ 周りの子どもの理解、そのための指導も必要だと思う。
- ・ 何かあった場合の職員のケア、サポートも必要だと思う。

[受け入れる側の不安を取り除くには、どのようなことをやればよいか]

- ・ 受入機関のスタッフを対象に、医療的ケアに詳しい方による講習会を行うのはどうか。
- ・ 救急車を待っている間の不安をどう解消したらいいかという点にも触れてほしい。
- ・ 医療的ケアについては指示どおりできたとしても、逸脱したことが起きた時にどうすればいいのかといった見えない部分の不安が大きい。
- ・ 「救急車をよべばいい」という一言は、「医療側が責任を持つからいい」という言葉でもある。バックについている医師が全部責任取るから大丈夫だよという形にしていけないと、うまくいかない気がする。
- ・ 保護者の方への寄り添い方も聞きたい。
- ・ 医ケア児じゃなくて親御さんに対する不安というのもあると思う。受け止め切れていない親御さんの気持ちを共有しておく、周りがサポートしやすい。

※ 富永副会長を講師として研修会を開催することについて承認され、その後の打合せで、受け入れ側がどのようなことを不安に思っているかなどについてのアンケート調査を行うこととした。

【令和7年度第1回協議会】

- 開催日 令和7年5月30日（金）18時
- テーマ アンケート調査についての意見、ほかにどのような不安があるか、実際の対応事例など。
- 主な意見
 - ・ アンケートでは、知識がないとか、医療的ケアについて知らないということが問題になっていると感じた。訪問看護をうまく活用して保育園につなげていけるといいのではと思う。
 - ・ 病気に関しての不安だけでなく、母子分離に関する不安、様々な子どもへの要求などへの対応も不安。
 - ・ 他の保護者にどのように説明したり対応したりすればよいか。
 - ・ 常勤の看護師がいない園で、人的配置をどうすればよいか。
 - ・ 保護者の心理、保育士の不安にどのように対応していけばよいか。
 - ・ 万が一の場合も組織として対応できるような体制づくりが必要。